

省エネ計算の実践型講習

建築CPD情報提供制度認定プログラムとして申請予定

令和3年4月1日に改正建築物省エネ法が施行され、適合義務の対象範囲が300㎡以上の非住宅建築物まで拡大され、今後、住宅を含むすべての建物への適用も検討されています。それを受けて、日事連 業務・技術委員会では、省エネ適合性判定を初めて行う設計者等を対象とした、**モデル建物法を使用した省エネ計算の実践型講習を企画致しました。**

モデル計算はエクセルを使用した計算で、小規模建築物の設計に際して簡便で有効な計算方法です。今回の講習会では日事連作成のコンテンツを使用し、動画での講義に加えて、演習として実際にWEBプログラムを操作していただき、改正建築物省エネ法の適合義務に対応することを目的とします。

講習内容	①建築確認・省エネ適合性判定に係る手続き、非住宅用途に係る計算方法の概要など …(約30分) ②中規模事務所の演習例題を使用したモデル建物法(Webプログラム)の入力講習など …(約3時間30分) 1時間程度の演習含む	
演習講師	廣田 隆幸 氏 (株式会社イズミシステム設計 東京建築環境・防災事業本部 本部長)	
受講料	会員(TARC含む):5,000円 非会員:8,000円 ※当日会場にてお支払いいただきます。	
開催日時	第1回: 令和4年6月8日(水) 13時00分～18時00分 [受付:12時30分～] 第2回: 令和4年6月23日(木) 13時00分～18時00分 [受付:12時30分～] ※講習内容は同じです	
会場	本会会議室(新宿区新宿5-17-17 渡菱ビル3階) ※会場は新型コロナウイルスの感染拡大防止に配慮します。	
申込	下記のフォームよりお申込みください。 ※各回定員30名(先着) 1事務所2名まで 第1回(6/8) ご好評により定員数となりました。ありがとうございます。 第2回(6/23): https://taaf.or.jp/event/ishoho2.html 6/15(水)〆切り 申込フォームにアクセスできない場合は協会事務局へご連絡ください。	
配布資料	【事前配布】 ・演習用 入力シート(Excel) ・様式A①②の入力について	【当日配布】 ・改正建築物省エネ法講習テキスト(中規模建築物設計者用) ・はじめての省エネ適合性判定 モデル建物法の入力講習 ・モデル建物法入力支援ツール解説 Ver.3.1.1(2021年10月)一部抜粋 ・演習例題(中規模事務所・1例)…建築図16枚、機械設備図8枚 ・モデル建物法入力支援ツール(平成28年省エネ基準用)による計算結果
持参物	ノートパソコン 電卓 筆記用具	※ノートパソコンは十分に充電された状態で当日ご持参ください。念のため電源ケーブルもご持参ください。 ※演習時に空調対象室と非空調対象室の色分けや設備機器の色分け等を行いますので、色鉛筆またはマーカー等を5色程度ご持参ください。 ※事前配布している演習用入力シート(Excel)を、当日使用するノートパソコンのデスクトップ等に貼り付け、様式A(基本情報入力シート①②)を講習開始前までに各自ご入力ください。
注意点	<ul style="list-style-type: none"> 完成した入力シートをアップロードし計算結果を取得する際、建築研究所HPにアクセスしますので、演習の終盤では協会のWiFiへの接続をお願いいたしますが、不具合等が生じた場合でも講習会終了後にご自身のネットワーク環境にて同様の作業を行います。 モデル建物法を含めた建築研究所のWebプログラムは、年2回(毎年4月・10月)の更新が予定されています。今回は、令和3年4月に更新されたVer3.0.0の入力マニュアル(WebプログラムはVer3.0.2)に基づき解説動画を作成しております。 新型コロナウイルスの感染状況により、講習会を延期もしくは中止する場合があります。発熱や咳、咽頭痛などの症状がある方は受講をお控えください。 	

